

# 子育て環境の整備 ～子育てに対する不安の解消に向けて～



平成28年4月26日

馳大臣提出資料



文部科学省  
MEXT  
MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 子育てに対する不安の解消に向けて

- 親の子育てに対する不安が大きく、児童虐待の問題は近年深刻化。
- あらゆる手段で子育てに対する不安を解消することが必要。

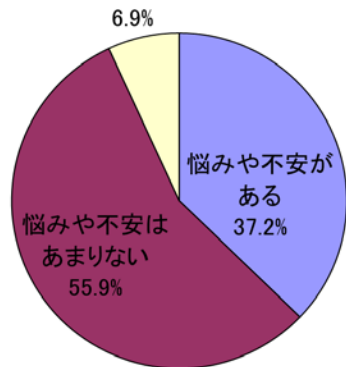
## 課題

子育てに対する不安が大きい

- ・子育てに悩みや不安がある父母は4割弱にのぼる。

### 子育てについての悩みや不安

悩みや不安はまったくない



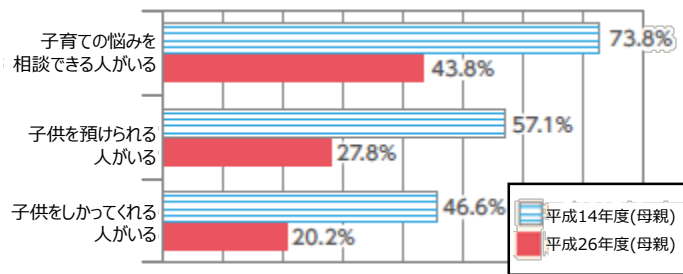
出典：文部科学省委託調査「家庭教育の活性化支援等に関する特別調査研究（平成20年度）」

地域の中で子どもを通じた付き合いが減少

- ・子育ての悩みを相談できる人がいる人は、平成14年度は73.8%だが、平成26年度は43.8%となっている。

### 地域におけるつながりの希薄化

地域の中で子どもを通じた付き合いが減少している。

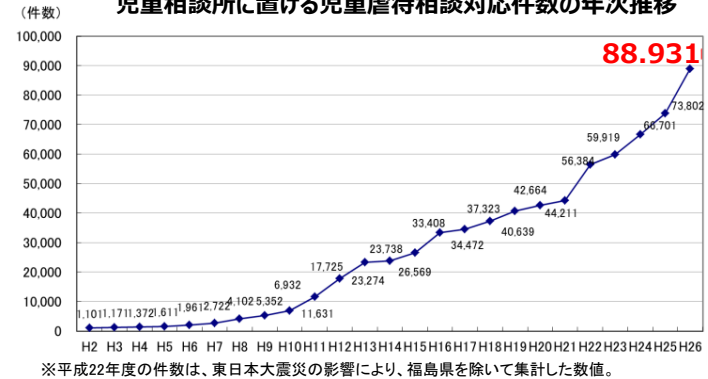


出典：(株)UFJ総合研究所「子育て支援策等に関する調査研究」(厚生労働省委託) (平成14年度) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「子育て支援等に関する調査2014」(平成26年度)

児童虐待の問題が近年深刻化

- ・児童虐待相談の対応件数は急増しており、平成26年度は88,931件で過去最高。

### 児童相談所に置く児童虐待相談対応件数の年次推移



※平成22年度の件数は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値。

出典：厚生労働省資料を基に文科省にて作成

多面的観点から子育て環境の整備を図ることが急務

幼稚園という  
既存の社会資源の活用

保育環境の整備

家庭教育支援の充実

# 子育てに不安を抱える保護者への支援及び保育環境の整備

幼稚園の役割 = 質の高い幼児教育 + **子育て支援** **就労との両立支援** という実態

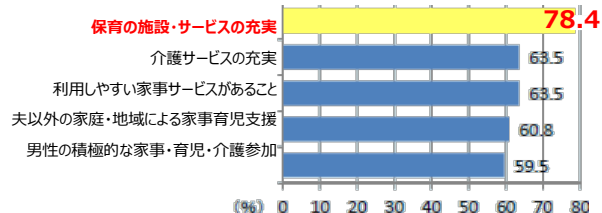
- 3～5歳児の**150万人超が幼稚園に在籍**
- 5歳児だと**約58万人**、当該年齢人口の**54%**（4歳児は同52%、3歳児は同43%）

- 園児の母の有職率※ **42%**（※園児5歳半。求職中含む）
- 幼稚園の預かり保育の実施率 **83%**（**私立95%**）
- 子育て支援活動の実施率 **87%**（**私立87%**）

出典：・平成26年度学校基本統計（平成26年 文部科学省）・平成26年度幼児教育実態調査（平成27年 文部科学省）  
・21世紀出生時縦断調査（特別報告）（平成21年 厚生労働省）

## 保育の施設・サービスの充実を望む声が多い

女性の活躍が進むためには、家族や社会等からどのような支援が必要か



出典：若者・女性の活躍推進に関するアンケート調査 国政モニター調査（平成25年 内閣府）

## 保育施設を設置している大学は少ない

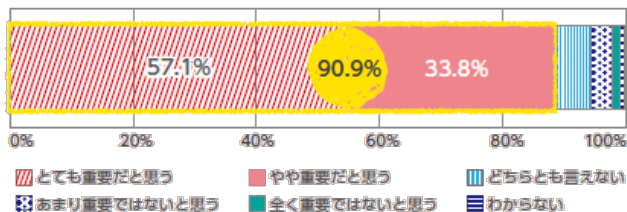
国公立大学における保育施設の設置状況

	保育施設を設置している	うち、学生の子どもを受け入れている施設を有する	保育施設設置割合
国立大学 (86大学)	51大学	39大学	59.3%
公立大学 (86大学)	10大学	6大学	11.6%

出典：文部科学省作成（平成27年3月）

## 子育てをする人にとって、地域の支えが重要

約9割の保護者が子育てについて地域の支えが重要だと思っている。



出典：家族と地域における子育てに関する意識調査（平成25年度 内閣府）

多くの保護者が子育てに関する相談や情報提供をする人や場、交流の場が重要だと思っている



出典：家族と地域における子育てに関する意識調査（平成25年度 内閣府）

## 目下の待機児童問題に対し幼稚園という既存の社会資源の活用

- 幼稚園における小規模保育事業や一時預かり事業等を推進し、その「**子育て支援**」・「**就労との両立支援**」の機能を**充実**

## 大学等における保育環境の整備

- 大学等の**教育・研究機関の保育環境整備**の仕組みづくりのモデル構築・普及

## 学校施設の有効活用

- **安全・安心な学校づくり**と**余裕教室**の保育所や放課後児童クラブへの活用など**学校施設の有効活用**

## 家庭教育支援の充実

- 家庭教育支援チームの支援員となる地域人材の発掘・養成等により、**保護者への学習機会、相談対応体制の強化**
- **訪問型家庭教育支援の推進**